

業務名称:ウクライナ向けヒートポンプシステムの調達及び設置業務 フェーズ2ロット2

(公告日/公示日:2026年8月17日 調達管理番号:26a00356)について、入札説明書関する質問・回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構

通番	該当頁	項目	質問	回答
1	P1	(第2回)訂正公告	①医療施設への大規模設置工事で、しかも発電機、燃料タンクの設置となると、各種許認可(公共医療施設への各種建築許可、環境、消防、用途制限、排水など)取得必要になりますが、記載されている通り、我々が必要な書類を準備すれば、病院側にて、取得頂けるものでしょうか？ ②8月25日(火)現地調査を実施しましたが、「病院内の決裁は取得するが、公的機関の許認可は工事請負業者が担当する」とコメントを受けました。通常の設置工事もそうですが、特に医療機関の場合、厳格に許認可を受けてからの工事開始になるので、再度、病院側と確認頂くとともに、仮に病院側にて、許認可取得が大幅に遅延する場合、納入期間延長にご了承頂けますでしょうか？	①各種許可の取得に関して病院からは添付資料①(02.09.2026.1_チェルニヒウ州立病院レター_原文及び日本語参考訳を参照)を受領しており、病院の責任で各種許可が取得されるものの、許認可取得に必要な資料の作成は応札者が担うものとなります。(添付参照:原文はウクライナ語、和文は機械翻訳)応札者はレターの原文から病院の意図を理解して、病院が許可を取得するために必要な書類を作成するための時間と費用を考慮して応札してください。 なお、応札者にて作成・取得する書類にかかる費用も応札者の負担となります。 ②許認可を取得する主体は①の通りです。予見不可能な外部要因等により受注者の責に抛らない遅延が発生した場合は不可抗力と見なしますので、判明した時点で早急に発注者へ報告してください。「納入期間」とは履行期間を指すと理解していますが、そのような場合は履行期間の延長について受注者と発注者間で協議します。
2	P1	(第2回)訂正公告	病院側が、許認可申請する際に、我々が準備する必要な書類を作成するためにも、病院側からオフィシャルに公的機関に登録・登記している図面(技術仕様書、詳細な設置工事する場所、配管・配線接続ポイント、及び入手可能なUtilityの確認等)を頂くことができますでしょうか？	左記の情報については、現地調査を通し据付先病院へお問い合わせください。
3	P6	競争参加資格提出書類	本年度4月に、グループ内の組織変更あり、名称は同じですが、昨年度までの「旧A社」を法人分割して、「新A社」を設立、現在、新たに全省庁資格審査結果通知書を取得するべく、各省庁と調整しています。また、新設法人の為、物理的に全省庁資格申請に必要な納税証明書が8月に入らないと発行ができませんでした。仮に、9月11日の入札書締め切りまでに、全省庁資格審査結果通知書が間に合わない場合、入札期限の日程変更をしていただくことは可能でしょうか？また、他にオプションがあればご提示いただけませんかでしょうか？	・入札書提出期限を変更する予定はございません。 ・競争参加資格確認申請書を「新A社」の名義で提出してください。「新A社」では用意できない書類については「旧A社」の書類での代替を認めますので、提出時、必ず法人分割の事実を確認できる書類を添付して下さい。 ・落札した場合は、「新A社」の名義・住所・代表取締役の氏名で契約締結します。 なお、法人分割が行われた法人については、機構のデータベースにある既存の団体情報の変更ではなく、新規団体情報登録を行う必要があります。したがって、法人番号および全省庁統一資格を取得次第、JICAHP「団体情報の登録について」を確認の上、 「e_sanka@jica.go.jp」宛に団体情報登録の申請を行って下さい。 なお、申請時には法人分割により「旧A社」の法人番号が無効になる旨をメールに付記してください。
4	P6	入札書の提出	本年度4月に、グループ内の組織変更あり、名称は同じですが、昨年度までの「旧A社」を法人分割して、「新A社」を設立、現在、新たに全省庁資格審査結果通知書を取得するべく、各省庁と調整しています。全省庁統一資格業者コードがないと、団体情報の登録が出来ず、入札用ICカード利用のための企業番号を発行頂けないかと思いますが、その場合は、入札参加の為にどのようなオプションがあるのかご提示いただけませんかでしょうか？	入札書の提出並びに入札会の参加に際しては、旧A社の名義で利用者登録済みの、有効期限内のICカードで参加してください。
5	P27	Targeted Service; Domestic hot water supply system + Heating system	①記載されている600kW Heating Capacity は、DHW(温水)及び Heating system(暖房)にどのような配分になりますでしょうか？ ②また、DHWの最大の容量(実際の使用量、もしくは給水負荷曲線など)ありますでしょうか？	① DHW 60kw、Heating 540kw相当で想定しています。 ② DHW 60kwを最大容量として想定しています。
6	P39、P45	支払	直接工事費(機材費、輸送費、保険費など)及び現場経費など、大規模設置工事ということもあり高額になること想定出来るので、機材など調達時に前金を検討頂くこと可能でしょうか？	本案件は入札説明書に添付のとおり、請負契約書にて締結します。 第13条(支払)に記載のとおり、成果品の引き渡しをもって請求が可能となるため(「検査合格の通知を受けることにより成果品を発注者に引き渡したものとみなされたときは、発注者に契約金額の支払を請求することができる。」)、前金払の請求は受けておりません。
7	P45	天災、その他不可抗力の扱い(第15条)	チェルニギフ市は、高頻度でロシアの攻撃を受けており、設置工事中の直接被害及び、昨今の物流拠点へ攻撃の影響で、直接被害に合わずとも大幅なロジスティックスの遅延に直面することも想定されます。その場合の機材の保証、及び深刻な遅延の際には納入期限の延長等、ご対応頂けると理解していますが、ご確認願います。	予見不可能な外部要因等により受注者の責に抛らない遅延が発生した場合については不可抗力と見なしますので、判明した時点で早急に発注者へ報告してください。契約条件のうち、履行期間の延長、機材保証への対応が必要となった場合は受注者と発注者間で協議します。
8	p.2	2. 手続き全般に係る事項 (2) 日程	昨今のロシアからの攻撃の激化、及び別紙4-1 設置場所リスト(1/3)に記載の先方担当者の不在により、起用予定の在キーウ現地代理店が本入札の公示以降現地調査出来ない状況となっております。 については今回入札説明書の規定に順じ、本質問書を一旦提出させて頂きますが、別途現地調査結果を踏まえた質問を送付させて頂くことをご了承頂きたい願います。 又精緻なプロポーザル策定の観点から、現地調査結果を踏まえた質問への貴機構回答に対し、改めて質問させて頂く機会も頂きたい存じます。 加え、上記質問機会の追加に鑑み、応札期日の延長につきましてもご検討頂ければ幸いです。	応札期日を含む選定スケジュールの変更及び再度の質問回答の実施は認めません。

通番	該当頁	項目	質問	回答
9	p.6	6. 競争参加資格 (4)再委託	本件の先行案件フェーズ2 ロット1(2026年1月23日公示)同様に、業務仕様書「4.業務の内容」に於ける、(1)調達する機材ならびに材料の製造業務及び設置場所への配送業務、及び(3)機材据付工事について再委託を認可願います。	左記の業務について再委託を認めます。
10	p.8	12. 落札者の決定 (1)落札者の決定	左記項目から、本入札においては入札説明書上で要求されスペックを満たした機材をベースとした提案価格が一番低い応札者が落札者として選定されるものと理解しております。一方、機器のエネルギー効率やライフサイクルコスト等は、導入後の運用費用に大きく影響する要素であると考えていることから、機器の価格のみならず、機器効率・消費電力等の要素を落札者決定における評価項目としてご考慮願います。	本案件は入札説明書に記載のとおり、最低価格落札方式にて選定します。価格点による競争入札となり、技術評価点の加算はありません。
11	p.10	16. 様式 (1)入札手続きに関する様式	左記項目内に記載がございます、1) 機密保持誓約書につきましては、入札説明書にて提出が求められていないことから、提出は不要との理解で良いでしょうか。	本案件においては、機密保持誓約書は提出不要です。
12	p.10	16. 様式 (1)入札手続きに関する様式	左記項目に記載がございます、6)委任状につきましては、提出期限および提出方法(メール提出の可否を含む)をご教示いただけますと幸いです。 また、メールでの提出が指定される場合には、送付先のメールアドレスおよび件名の指定有無についても、併せてご教示くださいますようお願いいたします。	委任する権限を行使するまでに競争参加資格確認申請書と合わせメールでe_sanka@jica.go.jpまで提出してください。委任状提出にかかる件名の指定は特にございません。
13	p.13	5. 業務実施上の留意事項 (6)	免税通関手続きの書類準備および通関完了に約2か月を要すると記載されていますが、免税通関に必要な諸書類(Procurement Plan, Registration Card等)は発注者様より受領するとの理解でよろしいでしょうか。 また、通関遅延が受注者の責に帰さない事由による場合、履行期間延長の対象となるとの理解でよろしいでしょうか。	免税通関に必要な書類(Procurement Plan及びRegistration Card)については弊機構より受注者へ共有します。 予見不可能な外部要因等により受注者の責に抛らない遅延が発生した場合については不可抗力と見なしますので、判明した時点で早急に発注者へ報告してください。履行期間の延長について受注者と発注者間で協議します
14	p.13-14	6.成果物・業務提出物等	納入機材のサービス保証書、取扱いマニュアル、代理店リストの提出が求められていますが、他保証期間、保証範囲、現地対応時間等について最低要求があればご教示ください。	アフターサービスの保証期間は据付完了後1年間とし、保証範囲は①自然故障時の無償修理及び初期不良対応 ②トラブルシューティング ③保守・点検サービス を含めるものとしてください。現地対応時間はメーカーの通常規程に沿ってください。
15	P.16	必要な仕様: 冷媒: R32 or R290 or R744	R32冷媒を使ったヒートポンプ機単独では冷媒の物性上、外気温-15℃下で65℃出湯ができず、バックアップヒーターなど補助熱源が必要と考えられます。このように機器単体では必要能力を満たせず、補助熱源が必要となる機器は選定機器の対象外との理解で宜しいでしょうか。	本プロジェクトでは、エネルギー効率の高いシステムをウクライナ国に供与することを目的に暖房、給湯熱源としてヒートポンプを採用しています。従って、指定の条件を満たすために補助ヒーターが必要となる場合でも、提案されるシステム機器類合計の電気容量が500kW程度となるよう計画してください。
16	P.16	必要な仕様: 冷媒: R32 or R290 or R744	R290冷媒は、ASHRAE分類A3に該当する高可燃性冷媒であり、外部からの火源や設備損傷等の要因によって火災・爆発リスクを伴います。特に戦争や武力衝突の影響を受ける地域においては、設備への飛来物被害やインフラ損傷などの外的リスクが想定される為、R290仕様機の設置には慎重な検討が必要であると考えます。 そこで、温暖化影響の低減を目的として、冷媒選定条件にR454Cを追加いただきたく存じます。R454Cはオゾン破壊係数0かつ低GWP冷媒として環境負荷の低減に寄与するとともに、R290と比較して可燃性リスクを低減できる選択肢です。また、R454C搭載機であっても要求される加熱能力・性能条件を十分満たすことが可能であり、実質的にR290の代替機種として採用可能と考えます。	左記の提案を認めます。
17	P.16	必要な仕様: Outdoor air temperature condition: -15° C	ウクライナの公式文書(ウクライナ建築気候基準 ДСТУ-Н Б В.1.1-27:2010(ISO 5168:2001.01-82相当))によれば、チェルニヒウ市における暖房期間(冬季)の暖房設計外気温はマイナス23℃とされています。不凍液であるブラインを選定すべきでしょうか？	ご理解の通り、ブライン溶液を採用して下さい。なお、ブライン濃度は-30℃設定としてください。
18	p.18-p.19	別紙4-1 設置場所リスト	本件では、手術棟にて機器の据付及び関連工事を実施することと理解しております。工事に関しては、騒音・振動・粉塵等が発生する可能性が有り、病院側の運営に支障を来す可能性がございます。つきましては、役務期間中に対象エリアの一定期間の閉鎖又は利用制限を行うことが可能か、ご教示いただけますと幸いです。 また、病院運営上の理由により工事施工期間に制限が設けられる予定がある場合には同制限に付きご教示ください。	添付資料②「工事の制約」をご確認ください。(原文はウクライナ語、和文は翻訳になります。)
19	P.24	Description of Equipment: Heating Cap. (Effective):24kW、Qty:24 units	AIR TO WATER HEATPUMP UNITの機器単機の能力が24kW、その機器が24台で合計能力は576kWとなり、要求能力の600kWを満足しません。要求能力を満たす為には記載以上の台数が必要になるものとの認識ですが、同認識で宜しいでしょうか。 他方、送還温度差についても5度と記載されておりますが、16ページにて要求される仕様では10度と齟齬が生じており、この点につきましてもご教示頂ければ幸いです。	システム図はあくまでも参考ですので、要求能力600kwを満たすことを優先してください。また、送還温度差は10℃以上を正としてください。

通番	該当頁	項目	質問	回答
20	p.29-p.34	システム図(電気設備)	発電機、燃料タンク、発電機建屋、切替盤、新設動力盤、既設盤との接続工事・基礎、フェンス、マンホール、排水配管等の土木工事について、図面に記載された範囲はすべて受注者の施工範囲との理解でよろしいでしょうか。受注者側の施工範囲である場合、必要機材の数量は受注者による現地調査及び設計に基づき算定するとの理解でよろしいでしょうか。 病院側または発注者側で実施する工事がある場合は、範囲をご教示ください。	左記について、受注者の施工範囲と理解してください。また、必要機材の数量は受注者の現地調査及び設計に基づき算定してください。今回、病院側または発注者側で実施する工事はありません。
21	p.29-p.34	システム図(電気設備)	既設受電設備・既設配電盤の容量、空きスペース、遮断器仕様、温水供給・暖房システムの既設設備との接続点、既設配管撤去・改造の有無、既設ポンプ・タンク・制御盤との取り扱い範囲について、応札者が現地調査により確認する前提でしょうか。発注者様側にて前提条件がございますたらご教示ください。 また、既設設備側の改修・増強が必要となる場合、その費用は受注者負担に含める必要がありますでしょうか。	既設受電設備・既設配電盤の容量、空きスペース、遮断器仕様、温水供給・暖房システムの既設設備との接続点、既設配管撤去・改造の有無、既設ポンプ・タンク・制御盤との取り扱い範囲は、現地調査により確認してください。 なお、既設設備側の増強については、冬場(暖房期間)において病院の既存電源設備では必要な暖房容量を全て賄えず、かつ既存電源設備の増強は不可であることを病院より確認済みです。従って、夏場は既存配電盤からの電力供給、冬場は新設する発電機からの電力供給を前提としてください。 その他既存設備側の改修については、受注者負担に含めるものとします。
22	p.32	システム図(電気設備)	左記図面にFUEL TANK(3,000L)との記載がございますが、導入機材の設備容量(Heating Capacity)にかかわらず、当該燃料タンクの容量は3,000Lから変更されないとの理解で相違ないでしょうか。	燃料タンクの容量変更は可能です。選定される発電機の24時間連続運転を可能とする容量を設定してください。
23	p.35	3. その他留意事項(2)	システム図は「参考図」とされていますが、応札者は参考図どおりの配管・配線ルート、機器配置、発電機建屋位置を前提に積算すべきでしょうか。それとも、現地調査結果に基づき応札者が最適な設計を行い、数量・ルート・機器配置を変更して見積ることが可能でしょうか。	システム図はあくまで参考ですので、現地調査結果に基づき応札者が最適な設計を行い、数量・ルート・機器配置を変更して見積ることが可能です。
24	p.35-p.36	1. 経費の積算に係る留意点(2)入札金額積算様式1	左記(2)入札金額内には、「本件は不課税取引であり、契約金額に消費税はかかりません。」との旨が記載されております。一方、積算様式1内にはVAT20%との記載がございます。従って、ウクライナ国内で発生する機材調達費や工事費に係るVAT(20%)は応札金額(見積金額)に含める必要があるとの理解で相違ないでしょうか。	経費に係る留意点における「不課税取引」とは日本国内における本契約の消費税を指しています。当該プロジェクトは免税通関が可能であり、免税通関時に必要となるProcurement Plan、Project Registration Card及びJICAが発行するDonation Letterを共有することが可能です。また、これらの書類はVAT還付にも活用いただけます。これらの書類にて免税通関あるいはVAT還付が可能と受注者にて判断される場合には、応札金額に含める必要はありません。
25	p.41	天災その他の不可抗力の扱い	徴兵や戦争被害等に起因する予測不可な人員(工事作業員や設計担当者)の欠員、軍による通行止めなどウクライナ国内の予想できない交通規制は不可効力と見做され、履行期間を含めた契約条件の見直しが可能となるとの理解でよろしいでしょうか。	通番7の通りです。
26	p.41	天災その他の不可抗力の扱い	発電機向けの小屋の建設につきましてはウクライナ国の関係政府機関の承認が必要となります。戦時下であることも鑑みて、承認に時間を要する可能性がある旨、ご認識頂きたいです。仮にこの承認に時間を要する際は不可効力とみなして頂けますでしょうか。	通番7の通りです。
27	p13,p16-17	機材 ヒートポンプ	5. 業務実施上の留意事項(3) には、別紙1の参考機材と同等又はそれ以上の製品を納入することあります。 また、参考機材の仕様書には仕様書指定の冷媒(R744)の記載があります。 前川製作所製ヒートポンプ「(参考機種)HE-HWA-2HTCRのシリーズ」は、仕様書指定の冷媒R744を使用しております。同冷媒は大温度差(Δt≧10℃)で最高効率を発揮する特性があり、「10℃固定」の条件ではR744採用機が実質的に排除され特定機種に限定されてしまいます。 つきましては、「留意事項(3)、別紙1の参考機材と同等又はそれ以上の製品」の記載のとおり、更なる省エネ性の最大化が可能な、温水温度差を「10℃を含む10℃以上(Δt≧10℃)」と読み替えた上で、本参考機種をヒートポンプ機材としてご承認いただけますでしょうか。 なお、温度差10℃を含む各種仕様は全て満足しています。	左記の提案を認めます。
28	p18	輸入者	・設置場所として「Chernihiv Regional Hospital of the Chernihiv Regional Council, Communal Nonprofit Enterprise」と記載がありますが、輸入者としての記載はありません。輸入者 = 納品場所になりますでしょうか？	輸入者が納品場所となる理解で問題ありません。
29	p18	輸入者	・病院が輸入者となる場合、免税の許可(他国などではマスターライセンスと言われる)を財務当局(税関)から取得する必要があります。一般的にはこのマスターライセンスで輸入通関時に免税貨物として輸入通関が許可となります。このライセンスの取得に約2カ月要するとの理解ですが、ライセンスが発行されてからもしくは発行される確認が取れてから日本国より出荷することになりますでしょうか？ ウクライナ税関で約2か月許可が出るまで待機する場合、国境周辺エリアで倉庫を借りる必要があります。この理解でよろしいでしょうか？	履行期間内に業務完了するように受注者自身でご計画ください。

通番	該当頁	項目	質問	回答
30	p13-15	履行期間	履行期間(2026年9月下旬～2027年2月上旬／約4.5か月)につきまして、2027年2月上旬までに「設置場所における立会検査の完了」ならびに「6. 成果物・業務提出物等」の「2. 完了検査に係る提出書類」および「3. 保守・維持管理に係る提出書類」の提出を完了する、という認識でよろしいでしょうか。	左記のご認識の通りです。
31	p14	2.安全管理体制	当社はプロパン冷媒を使った大型のヒートポンプ製品があるため、どこまで該当するかを検討するにあたり病院敷地内への可燃性冷媒(R290／プロパン)を用いたヒートポンプの設置に関し、戦時下の保安・法務リスクの観点から以下3点をご確認させていただきます。 ①病院側との合意形成状況： 現地病院の施設管理者や責任者には、プロパン冷媒の可燃性冷媒機器の特性、平時・有事の保安管理責任、および避難計画等について既に十分な説明がなされ、正式な受入合意が得れているという認識で相違ないかご教示ください。	病院に提示した参考システム図はR290使用のヒートポンプ機器の採用についても記載されており、病院からはこの参考システム図について承認済みです。ただし、R290を採用する場合にはヒートポンプ機器の分散配置をするなど受注者の判断による安全を確保してください。
32	p14	2.安全管理体制	②ウクライナ現地法令・安全基準への適合 同上①に伴い、現地消防当局や建築監督当局等への各種申請・折衝において、病院側(または相手国関係省庁)が申請が、どの範囲まで対応・協力する体制になっているかをご教授ください。	通番1の回答と添付を参照してください。
33	p13	5.業務実施上の留意事項	③戦時下における二次災害リスク対策 軍事攻撃(ドローン・ミサイル等)の脅威が継続する環境下において、可燃性ガス設備の設置に伴う被弾時の二次爆発・延焼リスクへの評価、および防護対策が必要であればご教示ください。 なお、具体的には、防爆壁や遮蔽壁、地下埋設、消火設備の増設などが必要な場合、「標準仕様外(相手国または発注者の指示・費用負担)」となりますでしょうか？	左記にご提示いただいた二次災害リスクへの対策を含める必要はありません。
34	p13	発電機	別紙1の参考機材と同等又はそれ以上の製品を納入すること。なお、施設の電力容量の増強はなされないため、ヒートポンプ機器の起動電力を考慮した最大消費電力の 1.2 倍以上の電力容量の発電機を設置すること。とあります。 この条件以外に、病院の敷地内に設置される発電機の燃料に指定があればお知らせください。	燃料については、一般的に流通する軽油を前提としてください。
説明書の訂正				
通番	該当頁	項目	訂正前	訂正後
35	p13	第2 業務仕様書(案) 3. 履行期間	2026 年9月下旬から2027年2月上旬(約4.5か月)	2026 年9月下旬から2027年2月下旬(約5か月)
36	p13	第2 業務仕様書(案) 5. 業務実施上の留意事項	(記載なし)	以下を追加 「(7) 受注業者は、病院がヒートポンプ設置にかかる許認可を取得するために病院が求める書類及び情報を提供すること」
37	p16-17	第2 業務仕様書(案) 別紙1	参考銘柄情報シート (Panasonic)の内容に一部誤りあり	・参考銘柄情報シート (Panasonic)を差し替え ・参考銘柄情報シート (Daikin)を追加



УКРАЇНА

УПРАВЛІННЯ ОХОРОНИ ЗДОРОВ'Я ЧОДА
КОМУНАЛЬНЕ НЕКОМЕРЦІЙНЕ ПІДПРИЄМСТВО "ЧЕРНІГІВСЬКА
ОБЛАСНА ЛІКАРНЯ" ЧЕРНІГІВСЬКОЇ ОБЛАСНОЇ РАДИ
КНП «ЧЕРНІГІВСЬКА ОБЛАСНА ЛІКАРНЯ» ЧОР

вул. Волковича буд. 25, м. Чернігів, 14029, тел./факс (04622) 5-35-25
e-mail: admin_crh@ukr.net, сайт: <http://crh.cn.ua/>, код згідно з ЄДРПОУ 02006113

02.09.2026

№

4-14/05/2489

На №

від

Офісу ЛІСА в Україні

Копія: Команді консультантів ЛІСА/Nippon Koei

Щодо роз'яснення обов'язків та строків
проекту встановлення теплових насосів

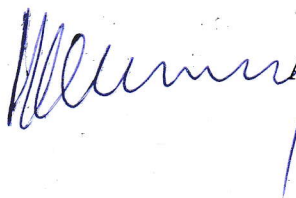
Шановне керівництво та колеги Офісу ЛІСА в Україні!

КНП «Чернігівська обласна лікарня» ЧОР засвідчує свою повагу та у відповідь на Ваш запит надає чітку позицію закладу для підготовки тендерної документації:

1. **Клас наслідків об'єкта:** Об'єкт належить до категорії СС2/СС3 (критична інфраструктура), що вимагає обов'язкового проходження державної експертизи проекту.
2. **Обов'язки підрядника:** Майбутній переможець торгів повністю забезпечує розробку Робочого проекту (відповідно до Державних будівельних норм України) та отримання Позитивного звіту державної експертизи, а також підготовку пакетів технічних документів для Державної інспекції архітектури та містобудування України (ДІАМ), Державної служби України з надзвичайних ситуацій (ДСНС) та Департаменту екології та природних ресурсів Чернігівської обласної державної адміністрації.
3. **Обов'язки лікарні:** Заклад, як кінцевий отримувач допомоги, гарантує подачу всіх сформованих підрядником заявок через державні портали протягом 2 робочих днів з моменту їх отримання.
4. **Прогнозний строк дозволів:** Загальний термін оформлення державних погоджень (ДІАМ Чернігів, ГУ ДСНС, Департамент екології ОДА) становитиме до 30 календарних днів після надання підрядником експертного звіту.
5. **Фінальний термін (Березень 2027 року):** Ми впевнені, що вчасно здати об'єкт у березні 2027 року цілком реально. Головне, щоб підрядник не затягував із розробкою самого проекту.

Висловлюємо Вам глибоку вдячність за підтримку лікарні та стратегічне партнерство.

З повагою,
Генеральний директор

 Андрій ЖИДЕНКО

Віталій МАГДИЧ 0634955007

日本語参考訳

ウクライナ

チェルニヒウ州政府保健局

チェルニヒウ州議会公営非営利企業

「チェルニヒウ州立病院」

公営非営利企業「チェルニヒウ州立病院」チェルニヒウ州議会

住所：14029 チェルニヒウ市ヴォルコヴィチャ通り25番地 電話／FAX：（04622）5-35-25

E-mail：admin_crh@ukr.net ウェブサイト：crh.cn.ua 法人登録番号：02006113

2026年9月2日 文書番号：4-14/05/2789

JICAウクライナ事務所 写し：JICA／Nippon Koeiコンサルタントチーム

1. 対象施設はCC2／CC3の重要インフラであり、国家審査が必須です。
2. 落札者は、ウクライナ建築基準に基づく実施設計、肯定的な国家審査報告書、DIAM、DSNSおよび州環境局向け技術書類の作成を全面的に担います。
3. 病院は、請負者作成の申請を受領後2営業日以内に政府ポータルから提出します。
4. 政府承認の総期間は、審査報告書提出後最大30暦日です。
5. 2027年3月の引渡しは現実的ですが、請負者が設計作成を遅らせないことが重要です。

総院長 Andrii ZHYDENKO 担当：Vitalii MAHDYCH 0634955007



УКРАЇНА

УПРАВЛІННЯ ОХОРОНИ ЗДОРОВ'Я ЧОДА
КОМУНАЛЬНЕ НЕКОМЕРЦІЙНЕ ПІДПРИЄМСТВО «ЧЕРНІГІВСЬКА
ОБЛАСНА ЛІКАРНЯ» ЧЕРНІГІВСЬКОЇ ОБЛАСНОЇ РАДИ
КНП «ЧЕРНІГІВСЬКА ОБЛАСНА ЛІКАРНЯ» ЧОР

вул. Волковича буд. 25, м. Чернігів, 14029, тел./факс (04622) 5-35-25
e-mail: admin_crh@ukr.net, сайт: <http://crh.cn.ua/>, код згідно з ЄДРПОУ 02006113

28.08.2026 № 4-14/05/2738

На № _____ від _____

Корпорації «Nippon Koei Co., Ltd.»
Пану Йошіфумі ХОШІАІ

Щодо операційних обмежень
та режиму будівельних робіт на об'єкті

Шановний пане Хошіаі!

КНП «Чернігівська обласна лікарня» ЧОР висловлює Вам свою повагу та надає відповідь на запит учасника тендеру щодо умов проведення робіт біля хірургічного корпусу №1. Наш заклад є об'єктом критичної інфраструктури, що працює в режимі 24/7. Через безперервну роботу операційних блоків та реанімації повне закриття корпусу є неможливим. Водночас, для дотримання графіків будівництва, адміністрація затвердила такий регламент для підрядника:

Межі будівельного майданчика: Лікарня передасть під будівництво зовнішній майданчик під будівництво споруди генератора, влаштування його захисного огороження та майданчика для розміщення зовнішніх блоків теплових насосів, який буде закрито для доступу пацієнтів. Внутрішні роботи у підвалі (тепловий вузол) та підключення до ГРЩ мають координуватися з технічною службою і проходити виключно у визначені технологічні проміжки.

Часові обмеження (шум/вібрація): Буріння, земляні роботи та демонтаж стін безпосередньо біля або всередині корпусу дозволені виключно з **15:00 до 19:00 у будні дні** та з **09:00 до 16:00 у вихідні**. У період операцій (з 08:00 до 15:00 у будні) будь-який важкий шум категорично заборонено. Лікарня залишає за собою право тимчасово зупинити шумні роботи (на 1–2 години) у разі проведення екстрених невідкладних операцій.

Контроль запиленості: Підрядник зобов'язаний встановити захисні пилозахисні екрани під час внутрішніх робіт. Попадання будівельного пилу в медичні зони є неприпустимим.

Технічна служба готова щодня допомагати майбутньому підряднику, щоб разом успішно завершити проєкт до березня 2027 року.

З повагою,
Генеральний директор



Андрій ЖИДЕНКО

Олександр САХНО 0634847595

チェルニヒウ州行政庁保健局
チェルニヒウ州議会管轄 非営利公営企業
「チェルニヒウ州立病院」

2026 年 8 月 28 日
No. 4-14/05/2738

宛先：Nippon Koei Co., Ltd.

件名：

工事現場における運用上の制約および施工作業時間帯について

拝啓

当院（チェルニヒウ州立病院）は、外科病棟 1 号館周辺における工事条件に関する入札参加者からの質問に対し、以下のとおり回答いたします。
当院は重要インフラ施設であり、24 時間 365 日体制で運営されています。このため、手術室および集中治療部門が継続的に稼働していることから、病棟全体を閉鎖することは不可能です。一方で、工事スケジュールを遵守するため、病院管理者は施工業者に対し以下の運用ルールを定めました。

1. 工事エリアの範囲

病院は、発電機設置施設の建設用地、その保護フェンス設置エリア、およびヒートポンプ屋外機設置エリアを施工用地として提供します。これらの区域は患者の立ち入りを禁止します。
地下階（熱交換設備室）での内部工事および主配電盤（GRShch）への接続工事については、病院の技術部門と調整のうえ、指定された技術的時間帯にのみ実施しなければなりません。

2. 時間的制約（騒音・振動）

掘削工事、土木工事、および病棟の直近または内部で行う壁解体工事については、次の時間帯に限り実施を認めます。

平日：15:00～19:00

休日：09:00～16:00

平日の手術実施時間帯（08:00～15:00）は、重大な騒音を伴う作業を一切禁止します。
また、病院は緊急手術が実施される場合、騒音作業を一時的に停止（1～2 時間程度）させる権利を有します。

3. 粉じん対策

施工業者は、屋内工事実施中に防じん用の保護スクリーンを設置する義務があります。
建設粉じんが医療エリアに侵入することは認められません。
病院技術部門は、将来選定される施工業者に対して日々支援を行い、2027 年 3 月までに本プロジェクトを成功裏に完了できるよう協力する準備ができています。

敬具

チェルニヒウ州議会管轄チェルニヒウ州立病院
総院長

Andrii ZHYDENKO（アンドリー・ジデンコ）